

人間社会学部 現代社会学科

【中学校一種（社会）、高等学校一種（公民・地理歴史）】

①教員養成の目標

現代社会学科では、学生が、現代社会に生じている諸問題を社会科学分野の専門知識を習得し、問題を解決する方法を身につけることを狙いとしている。具体的には、さまざまな社会科学理論の理解と展開、そしてフィールドワークによる調査研究、文献資料の質的研究、コンピュータによる社会データの数量的研究などの実践的技能を修得できるようにカリキュラムを配置している。こうした取り組みによって、複雑で多面的な社会の問題を理解し、解決できる幅広い教養と柔軟な思考をそなえた女性教員を育成する。

【中学校一種（社会）】

複雑で多面的な社会の問題を理解し、解決できる幅広い教養と柔軟な思考をそなえた女性中学校教員を育成する。

【高等学校一種（公民・地理歴史）】

複雑で多面的な社会の問題を理解し、解決できる幅広い教養と柔軟な思考をそなえた女性高等学校教員を育成する。

②当該目標を達成するための計画

基盤教育センターのもとで全学にわたる教職課程委員会が設置されており、そこと連携をはかりながら学科レベルでは、教職課程担当者（教育実習担当者を兼務）が教職に関する学生の相談・指導にあたっている。また、学科の教職課程担当者は、教育実習の事務手続きの相談窓口である資格教育課程指導室、および教員採用試験の相談窓口である教職教育開発センターとも連携し組織的な指導を行っている。

以上のように学内の関係機関と密な連携のもとで支援はおこなっているが、学科として個別の目標やは設けていない。しかし、学科では教職資格取得希望学生各々のニーズにこたえるべく、次のように計画的に相談・指導にあたっている。

- 1) 一年次には、オリエンテーション学生委員に教職取得中の学生を含めることとし、教職資格取得希望学生の履修計画に対する疑問にこたえられるようにしている。
- 2) 各年次ごとにアドバイザーをおき、年度初めのオリエンテーション時に、教職資格取得を希望する学生がアドバイザーに相談できるようにしている。
- 3) 特に、介護等体験・教育実習などの実習科目については、常勤・非常勤の教員スタッフが、これらの科目的履修で生じる欠席について便宜をはかるよう周知している。

【中学校一種（社会）】

学位取得に向けた指導と共に、免許状取得のため学士課程で習得すべき単位数を踏まえ、所属学科を中心とした授業科目から免許種に適した科目を選択履修するよう、初年次から履修指導を行っている。

【高等学校一種（公民・地理歴史）】

学位取得に向けた指導と共に、免許状取得のため学士課程で習得すべき単位数を踏まえ、所属学科を中心とした授業科目から免許種に適した科目を選択履修するよう、初年次から履修指導を行っている。